第１学年　　道徳科学習指導案

１　主題名　　　郷土の伝統や文化を受け継ぐことのよさについて考えよう

【Ｃ－(１６)　 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】

２　教材名　　「なおしもん」

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする価値

郷土に根ざした伝統と文化を継承していく心を養い、それらを大切にしていこうとする態度を育てる内容項目である。今日の我が国においては、都市化が進む一方で過疎化も進んでおり、そのために郷土に対する愛着や郷土意識が希薄になっている傾向がみられる。しかし、生徒にとって、地域社会は家庭や学校とともに大切な生活の場である。郷土によって育まれてきた伝統と文化に触れ、体験することを通して、そのよさに気づき、郷土に対する誇りや愛着をもつとともに、郷土に対して主体的に関わろうとする心や態度も育まれる。輪島塗という他県の文化や伝統と、本市の伝統や文化を通じて、郷土に対する誇りや愛着をもつとともに、その発展に努めようとする実践意欲と態度を育てたい。

（２）ねらいに関わる生徒の実態

本学級は、集団として、行事を中心に普段の生活の中でも目標を共有し、それを達成するために前向きに頑張り、協力することができる。また、明るい生徒が多く、授業では積極的に発言ができ、楽しく活動に取り組むことができる。

学級の生徒に、「将来は都会に行きたい」、もしくは「地元に残りたい」という簡単なアンケートを取ってみたところ都会に行きたいと考えている生徒は５人程度で、それ以外の生徒は地元に残りたいと考えていることが分かった。また、お祭りに興味をもっている生徒も多く、たくさんの生徒が今年度も、市内のお祭りに参加したことが分かった。そこから、地元を愛している生徒が多いことが予測でき、何らかの形で郷土の行事に参加していることが分かった。一方で、多数の生徒は、社会に尽くした先人や高齢者などの先達のおかげで今の暮らしを営むことができていることの認識が薄く、尊敬の念や感謝の気持ちを深めていることができていないのも事実である。今回の授業を通じて、郷土の行事について確認したり、郷土の歴史に詳しい方をお呼びし、話をしていただいたりすることで、郷土に対する認識をさらに深め、郷土を愛し、その発展に努めようとする実践意欲と態度を育てたい。

（３）教材の活用・指導の工夫

　本単元では、「輪島塗」を例に、郷土の伝統や文化に込められた先人の思いから、それを受け継

ぐことの意味を考えさせたい。また、郷土に根ざした輪島塗の伝統が大切に受け継がれてきた背

景にある「伝統」「技」についても触れることで、それらの大切さも気づかせていきたい。

この気づきは、本市の郷土の伝統文化にも通じるものがある。本単元は２時間完了にし、１限目で「輪島塗」を例に挙げている「なおしもん」の話を通じて、輪島塗には、石川県の郷土の伝統や文化に込められた先人の思いがあることを知る。そこから本市にも、郷土の伝統や文化があることを生徒に投げかけ、考えさせたい。その中でも、今回はお祭り（例祭）に注目して、棚尾の歴史に詳しい講師の方にも参加していただき、話をしていただく。話の内容は、外部の人からは見えてこないような、行事を継続することの大変さについて、棚尾の歴史も交えて話をしていただく。そこから、郷土の伝統・文化の抱えている問題点を真摯に受け止め、郷土のために自分ができることは何かを考えさせ、進んで郷土の発展に努めようという気持ちを育てていきたい。

３　指導計画　（２時間完了）

　（１）道徳の教科書に掲載されている「なおしもん」を題材に、郷土の伝統や文化を大切にし

ていかなければいけない意味を考える。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　１時間

　（２）郷土の歴史に詳しい講師の方に、話をしていただくことで、郷土のために自分ができる

ことは何かを考え、郷土の発展のために自分が寄与しようとする意識を高める。

１時間（本時　２／２）

４　本　時

（１）目　標　　　本市の伝統や文化に詳しい方にお祭りを例に挙げお話をしていただき、郷土の伝統や文化に対して、自分が何ができるかを考え、さらに寄与できることも考えることができる。

（２）準　備　　教師…ワークシート、掲示物　生徒…ワークシート

　　　　　　　　講師…棚尾町おこしの会　メンバー

（３）展　開　学習テーマ「郷土のために自分ができることは何かを考え、郷土の発展のために

自分が寄与しようとする意識を高める」　　２時間扱い　２／２限目

２時間扱い　　　　　本時１／２限目　（※前時の指導案）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 生徒の学習活動と内容 | 教師の支援・留意点と評価 |
| ５７204048 | １　中学校の伝統や文化について思いつくものを発表する。２　学習のテーマを確認する。郷土の伝統や文化を受け継ぐことのよさについて考えよう。３　「なおしもん」を読んで考える。①　祖父母や父母の使った輪島塗を受け継いで使いたいと思う人が多いのは、どうしてだと思いますか。　・いいものなので、もったいないから。　・祖父母や父母が使っていたものなので、思い入れが強い。４輪島塗の伝統や文化は、地域の人たちにとって、どういうものでしょうか。・歴史のある大切なものである。・地域とつながりの深いものである。・大切なものであり、これから若い人たちに受け継いでもらわなければならない。・輪島の人たち（日本人）の技であり、その作品は、世界の人たちにも自慢できるものである。・自分の地域のものではないが、これが自分の地域の伝統だったら、自慢に思えると思う。・地域の人中心に親しまれているもの。５　本時のまとめをする。・今日の授業で考えたことをワークシートに書こう。６　本市の伝統や文化には、何があるかな。・お祭り（チャラボコ、神楽。餅投げ）・白醤油・白みりん・キリンラーメン・神社（大浜熊野大神社）・焼きそば・えびせんべい・しらす・次回の授業の予告をする。 | ・中学校という身近なところに注目することで、文化について考えやすいようにさせる。・輪島塗の映像を見せることで、輪島塗の大変さやたくさんの人がかかわって作製していることを伝える。・輪島塗とは何かをしっかりと押さえるるために、輪島の場所や工程について、資料等を使い丁寧に確認をする。・輪島塗の器は、１つでも高価であることを押さえておく。・話し合いがしやすいように、机の隊形をコの字型にする。・「先人たちの思いがつまっているもの」、「これからも続けていきたい」という本時のねらいに近づく発言が出なければ、切り返しをして、さらに深く考えさせる。・本時のねらいに迫れたタイミングで、「輪島塗を継承しますか。」と、自分に振り返させる質問をすることで、さらに深く、輪島塗のよさについて考えさせる。・生徒の感想から、続けていくことは難しいこともあるが、いいものだからこそ続いていることに気付けている内容の文章を取り上げ、その考えが大切だということを押さえる。・お祭りはお祭りでも、秋に行われる例祭（餅投げをして厄払いをする）に焦点化し、考えさせる。・ワークシートに「親御さんから聞いたこと」の欄を作り、家庭でも郷土の文化や伝統について考えるようにさせる。 |
| 視点 | ・「輪島塗」の文化や伝統を学ぶことは、郷土の伝統や文化を意欲的に考えることに有効であったか。 |

２時間扱い　　　　　本時２／２限目

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 生徒の学習活動と内容 | 教師の支援・留意点と評価 |
| ５７20254045 | １　前時の授業を振り返る。２　学習のテーマを確認する。３　棚尾地区の歴史について調べられている講師の方から話を聞く。【話の内容】・お祭りに込められている先人の思いや歴史について・祭りを継続することが難しくなっているが、お祭りの好きな人が、いろいろ工夫をして続けようとしている。４　話を聞いて、初めて知ったことや感じたことを発表する。・お祭りにかかわっていく人が減っていることは知らなかった。・お祭りを続けていくことが難しいことは、知らなかった。・お祭りに込められた先人の思いを知ることができた。５お祭りの継続が大変なのに、続いているのはどうしてでしょうか。・お祭りが好きすぎてたまらないから。・昔から続いているものをなくすことは、今までの人たちに申し訳ないから。・地域の人が集まって楽しめる場所をなくしたくないから。・お祭りは、地域の人たちにとって、守っていくものであり、大切なものだから。６　本時の振り返りをする。７　発表する。・お祭りに込められた歴史や昔の方の思いなどを聞くことができ、お祭りに対しての見方が変わりました。・「てらまちウォーキング」などの行事にも参加したいです。８　講師の方に感想を述べてもらう。 | ・前時の「なおしもん」で学んだ伝統や文化について発表する。・事前に生徒一人一人が家族にお祭りの話を聞くことで、お祭りについての自分の意見をもたせる。・お祭り全般について、外部の人からは見えてこないような準備の大変さや人手不足のことを中心に話をしていただく。また、郷土の伝統や文化に込められた先人の思いについても伝えていただく。・話し合いがしやすいように、机の隊形をコの字型にする。・前時の「輪島塗」で考えたことにも触れ、碧南のお祭りが続いていることは、いろいろと問題はあるが、それでもいいものだから続いていることに気付かせる。・ワークシートに書くことで、自分の意見をまとめさせ、自信をもって発表できるようにさせる。・郷土の伝統と文化を守るために、自分にできることは何かを考え出し、発表する生徒が出てきたら、教師が切り返しをし、さらに考えさせる。・生徒の発表から、郷土の伝統や文化に込められた先人の思いの大切さに気づいているものを取り上げ、その姿勢が大切だということを押さえる。・教師も、お祭りにかかわっている立場から、生徒が本時のねらいに迫れるように実体験のお祭りの話をする。 |
| 視点 | ・棚尾学区に詳しい講師の方に、伝統行事であるお祭り（例祭）を取り上げ、歴史と継続することの大変さを話していただくことは、郷土のために自分ができることを考え、その発展に自分が寄与しようとする意識を高めることに有効であったか。 |